

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校教育指導運営事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	02	01	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	濱崎 祐子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小学校児童	意図	小学校における教育指導内容の充実を図る。
事業内容	小学校における教育指導内容の充実を図るための消耗品整備。			
事業開始から現在までの状況変化	この事業を通し、研修会など教育指導内容の充実、改善を図り、学習効果が高まっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	パソコン備品修理稼働率	100	100	97.93	%
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	研修等の充実により、指導方法の工夫、改善が図られている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 毎年行われている研修会等の充実により、指導法の工夫、改善が行われている。また、調べ学習などで活用するパソコンについて、修繕や消耗品の整備している。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		513,058	513,125	483,774			
事業費(b)(円)		513,058	513,125	483,774			
うち一般財源		513,058	513,125	483,774			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	教育指導内容の充実のための消耗品整備。パソコン修繕。	③取り組みの課題	常に最新の教育施策の情報を共有し、教育指導内容の工夫、改善を図っていく。
②今年度(H26)に実施した取り組み	研修会充実のための消耗品の整備。パソコン関連の消耗品整備、パソコン修繕。	④今後の改善計画	研修会の内容をより充実したものにしていき、指導内容の工夫、改善に取り組む。学習効果を向上させる。